

令和6年度第1回学校運営協議会 記録

1 日 時

令和6年6月25日（火）14：30～16：10

2 会 場

北海道森高等学校会議室

3 参加者

学校運営協議会委員11名参加（事務長出席 委員欠席4名）

4 内 容

(1) 会長挨拶

(2) 学校運営について

・学校経営基本方針の説明（校長） → 承認

(3) 令和6年度これまでの学校の様子について

・学校の概要、新聞掲載記事から説明(教頭)

(4) 協議・審議事項

☆校長より PP で説明「地域連携校導入及び学校の魅力化について」

鈴木：①町内中学校からの進学率を上げられないか？そのためには、中学校との交流が必要で特に生徒同士の関わりが重要である。それが森高校への理解につながると思う。

②総合学科の良さを具体的に知りたい。

③森高校への支援として、町としての新たな施策があれば聞きたい。

高橋：③について。具体的なものはないが、他町村と同じ施策にすることはない。高校と行政が両輪になって支援をしていくことが大切である。

西川：教育振興会など町としても様々な支援をしているところである。

小野：保護者への支援、子供への支援など支援の対象の視点を持って施策を考えていくことが重要である。

岩島：①について。以前は八雲からも通学していた。そちらにも手を伸ばすことはできないか。また、七飯や大沼からも来ていた。函館も来るのではないか。

校長：大沼岳陽を学校訪問した時には、通学が可能かを質問された。過去に大沼中から森高校に進学した生徒はいた。八雲町では、八雲高校への進学をすすめているようである。

岩島：パンフレットを函館など広く配布してみてもどうか。

高橋：広報活動を充実させ、中学校との連携をしっかりと行う。選択するのは中学生であるので何を求めているのかを調査していくこと。町としても空き家の整備をするなど

もできる。もし、地域から入学したい生徒がいたら町として支援が必要。DX については、7/30 学校説明会で参加している人に理解している人が説明をすること

高橋：②について。ノートパソコンと高性能 PC の違いについて教えてほしい。

岩島：高性能 PC は処理能力に優れており、動画編集やグラフィックデザイン、ゲームなど重い負荷のかかる作業でもスムーズに作業できる。

高橋：パンフレットの DX や地域連携校について、わかりやすい言葉でつくってもらいたい。

鈴木：選択教科を選択する時期が早すぎないか？生徒の興味を引き出す取組を行っていくことが大切である。

畠山：教科書選定の関係もあり、早い時期に決定しなくてはならない

脇澤：生徒募集について、特別支援の生徒なども視野に入れていきたい。特に、8 月に学校相談会を開催するので、不安や悩みを抱えている生徒が参加してくれることを望んでいる。

高橋：不安を持つ生徒もいる。相談窓口になってもらえたらありがたい。特別支援についても学校が本腰をいれるなら協力していきたい。

☆亀田教諭より「今年度の学校祭について」説明

(意見質問なし)

(5)その他

鈴木：「森の学び 2023」について

冊子を町役場からもらって、中学校に配ってはどうか。

高校の担当教諭の異動等があってもこの取組は続けてほしい。

岩島：学校祭と食 KING 市の同日開催になる。

高橋：食 KING 市で学校祭の PR をすれば、集客につながる。